

短期海外派遣報告書

横浜市立大学附属市民総合医療センター
消化器病センター外科
長谷川慎一

JACCRO 短期海外派遣制度にて、2012年1月19-21日に米国サンフランシスコで開催された ASCO Gastrointestinal symposium に参加して参りました。私にとって ASCO-GI への参加は5年ぶりとなります。プログラムは、約2000人

以上は収容できると思われる大きなメイン会場でのセッションにはほぼ一本化されており、初日は上部消化管、2日目は小腸・肝胆道系、3日目は大腸と大変シンプルでした。教育的な基調講演が多く、各領域における現在の TOPICS から将来の方向性まで、効率よく吸収することができました。

上部消化管領域では、進行再発胃癌を対象とした Everolimus の第3相試験の結果が報告されました。Everolimus 単剤による OS の有意な延長はみられず残念な結果でありましたが、PFS は有意な延長がみられ安全性は確認されました。バイオマーカー解析を現在行っているとのことです。また、AVAGAST 試験登録症例における胃癌のサブタイプ解析は、今後、胃癌治療が個別化治療に進んでいくことを示唆するものであり、大変興味深く聴くことができました。

会場の聴衆が参加して行うアンサーパッドによる Case Presentation が大変印象的でした。特に食道癌領域では、術前治療としての放射線化学療法が圧倒的に多数を占めたことは、日本との違いを肌で感じることができました。

サンフランシスコを訪れたのは私にとって初めての経験でした。あいにくの天候が続いたこともあり、温暖なイメージとは裏腹に大変に寒かったのですが、大変美しい街並みに感動いたしました。

最後になりましたが、このような機会を与えてくださった JACCRO の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。